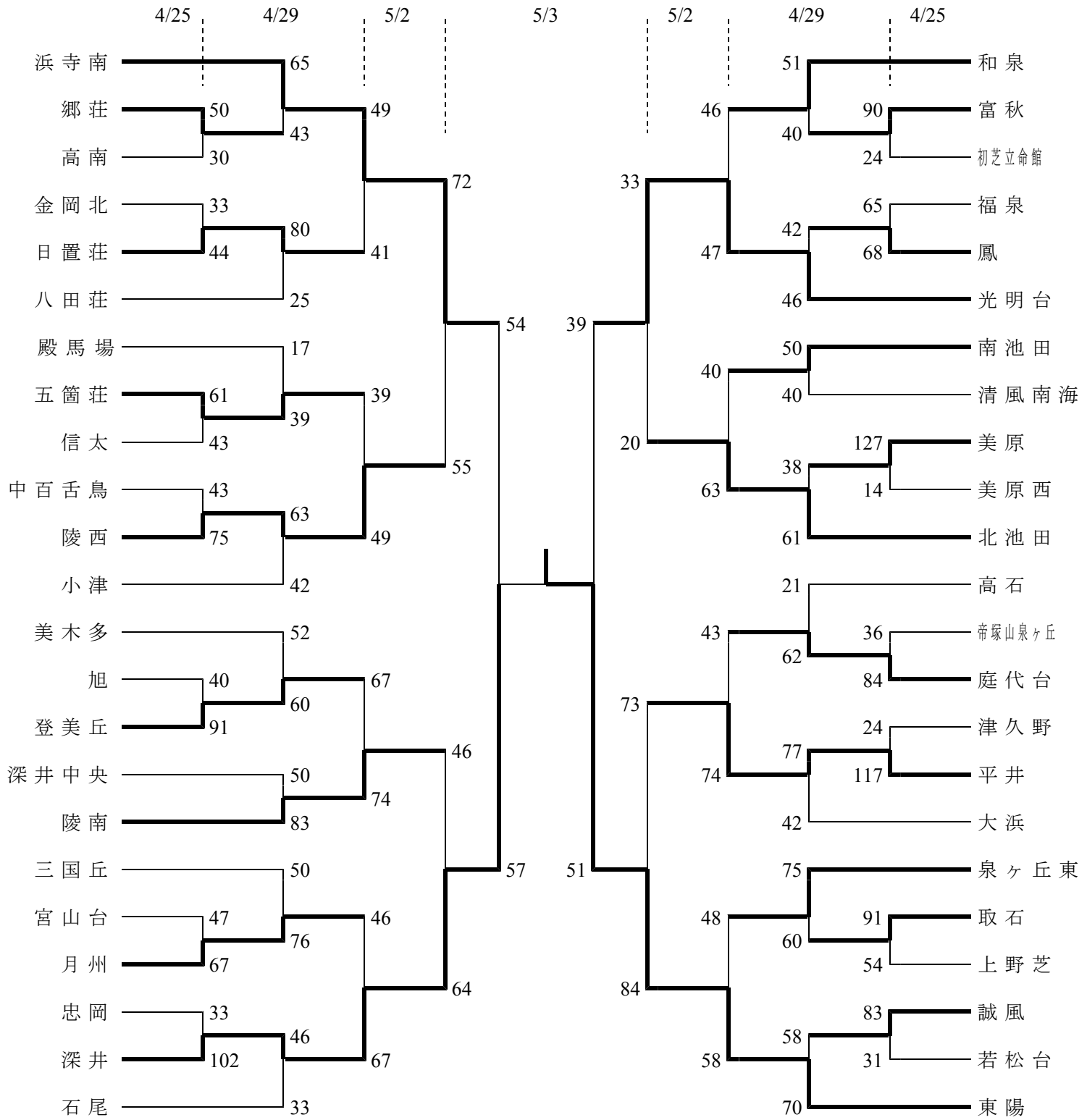


2009年度泉北地区春季大会

男子の部



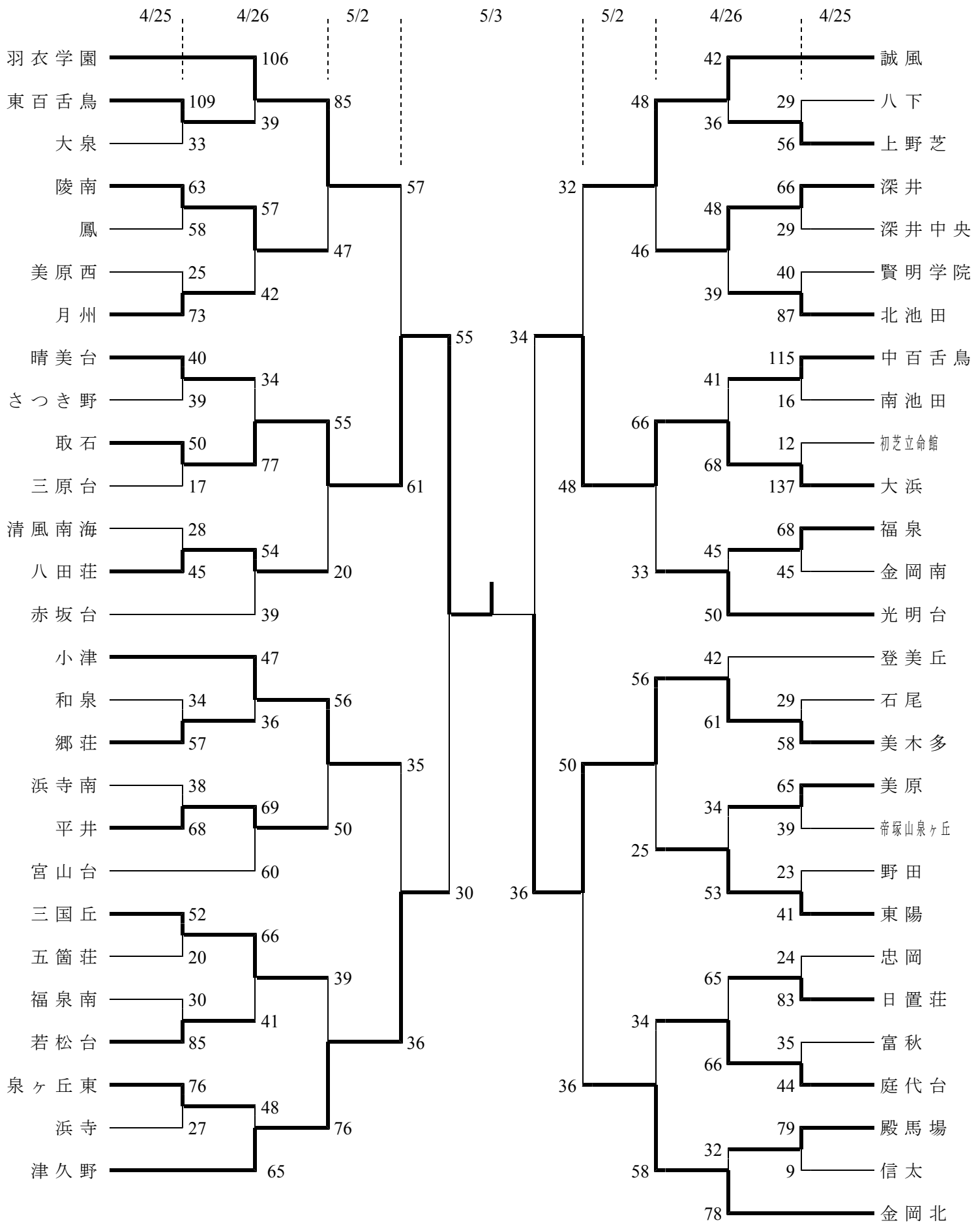
決勝

深井 51 - 53 東陽
 15 - 17
 11 - 17
 12 - 4
 13 - 15

3位決定戦

浜寺南 48 - 43 光明台

女子の部



決勝
 取石 57 - 23 美木多
 17 - 0
 16 - 5
 13 - 9
 9 - 11

3位決定戦
 津久野 58 - 31 大浜

男子決勝戦評

深井はシュートインで2-2-1プレスからマンツーマン、アウトでハーフ1-1-2-1ゾーン、東陽はハーフコートマンツーマンで試合をスタート。深井⑥の3ポイントで試合が動き出す。さらに⑦の3ポイントも決まり、流れをつかむ。東陽は⑤のゴール下のプレイで応戦し、また3ポイントも沈める。互いに譲らず、17-15と東陽の2点リードで1Qを終える。

2Qは東陽が④のドライブから⑧への合わせで先制する。深井も⑤のハイポストのプレイと⑦のドライブを中心に東陽ディフェンスを崩しにかかる。また深井の2-2-1プレスが随所で決まり、流れをつかみかける。しかし、東陽も⑧のゴール下シュートや④の連続3ポイントで対抗し34-26と東陽のリードで前半を終える。

3Qは一進一退の攻防が続くが、深井のディフェンスが効果を発揮し、東陽のシュートが落ち始める。東陽も⑤がゴール下シュートを決めるが、深井の勢いが上回り、38-38と試合を振り出しに戻す。

勝負の4Qでは東陽は⑤が1対1やオフENSリバウンドから効果的に加点、一方深井は3ポイントを勝負どころで沈め、緊迫した接戦が続く。残り11秒で深井がタイムアウトから勝負をかけるが一步及ばず、東陽が53-51で優勝を飾った。

緊迫感のある決勝戦を繰り広げた両チームに惜しめない拍手を送るとともに、今後ますますのレベルアップをし、大阪選手権での健闘を期待する。

(真壁)

女子決勝戦評

取石はオールコートマンツーマン、美木多はハーフコートマンツーマンでスタート。取石④のジャンプシュートで口火を切る。その後も取石は④や⑥のジャンプシュートや⑦のドライブで着実に得点を重ねる。一方、美木多は取石ディフェンスの激しいプレッシャーにシュートミスが続く。結果、17-0で1Qが終了する。

2Qになっても試合の流れは変わらず、取石はセットプレーで確実に得点を積み上げる。取石④の1対1や⑥のポストプレイ、⑨の3ポイントなど、随所で効果的に得点が決まっていた。美木多は⑥のシュートで応戦するが、得点差は広がり33-5で前半を終える。

3Qが始まると美木多は3クォーターマンツーマンにディフェンスを変える。しかし、取石は前半でつかんだ試合の流れを譲らず、46-14とする。

4Qでは美木多がオールコートマンツーマンを仕掛け逆襲を試みるが、取石は余裕をもったゲーム運びを見せ、57-23で優勝を決めた。

地区大会をノーシードから勝ち上がった両チームの健闘を讃えるとともに、泉北地区の1位、2位として、大阪府選手権での活躍を期待したい。

(塩井)